

高知土木技士

No.58

(公社) 高知県土木施工管理技士会 [高知市本町4-2-15 建設会館 5 F TEL 825-1844]



平成 27 年度表彰 高知県優良建設工事

施 工

有限会社 高橋建設

工 事 名

道交国 (改築) 第109-213-3号
国道439号社会資本整備総合交付金工事

工 事 場 所

高知県高岡郡津野町郷

現場代理人

高 橋 伸 幸

監理技術者

海 地 博



新年挨拶

(公社) 高知県土木施工管理技士会

会長 田邊 聖

新年あけましておめでとうございます。皆様にとりまして希望ある、より良き年となりますよう心からご祈念申し上げます。

また、平素より当技士会の運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年は、「新三本の矢・一億総活躍社会」のスタートであります。

昨年までのアベノミクス・三本の矢の効果は如何に。

昨年11月の全国知事会議において安倍総理が開会挨拶の冒頭でアベノミクス効果として雇用情勢に言及し「高知県は1963年統計を取り始めて初めて有効求人倍率が1.0倍に達しました。おめでとうございます」と唯一高知県を名指して祝福して頂きました。

はたして県内建設業に従事されている会員の皆さまにはアベノミクス効果が波及し、果実の恩恵に浴した実感が持てたでしょうか。

ともあれこの新年も、アベノミクスの効果と果実がさらに波及し、建設業活性化に向かう明るい年となつてほしいものです。

さて今年は、国交省では担い手3法改正等の趣旨を推し進めるため、i-Construction (アイ・コンストラクション) と称し建設現場の全プロセスを通じた情報化による建設現場・技能労働者の生産性の抜本的向上の取り組み、新たに工期の余裕期間の設定、施工時期の平準化に向けた積極的な制度活用の取り組みなどが示されました。

ところで、昨年は3年毎の全国技士会の技術者アンケートが行われました。そこでは、従来からいわれている提出書類の簡素化・設計変更時の片務性・事前地元説明や折衝に対する改善を望む声が3年前と変わらず多い結果となっています。

発注側として各種見直し改善は行ってきてはいるが、現場技術者の目からは改善はあまり進んでいないように見受けられるものとなっています。



技士会では、これらの技術者の皆様の声を国の施策に反映させ社会的地位の向上に資するよう連合会とともに活動してまいります。

また、これまで同様に資格取得支援や講習・現場見学など通じて、技術者の技術力の向上に全力を挙げて取り組んでまいります。会員の皆さまには、昨年同様に、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、各関係団体のご指導とご支援を賜りますことをお願いし、本年も会員の皆様のますますのご発展、ご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



新年挨拶

高知県土木部長 福田 敬大

新年あけまして、おめでとうございます。

高知県土木施工管理技士会の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日ごろは、県行政、とりわけ土木行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

我が国は東日本大震災からの復興に全力を挙げて取り組むとともに、加速化するインフラの老朽化、切迫する巨大災害、激化する国際競争、人口減少による地方の疲弊など数多くの困難な課題に直面しております。

このような中、本県は全国に先駆けて人口減少や過疎化の進行、経済の縮小、あるいは自然災害への備えといった課題に向き合っています。このため「課題解決の先進県」として、5つの基本政策を掲げ、県勢の浮揚に向けた様々な取り組みを全力で進めているところです。

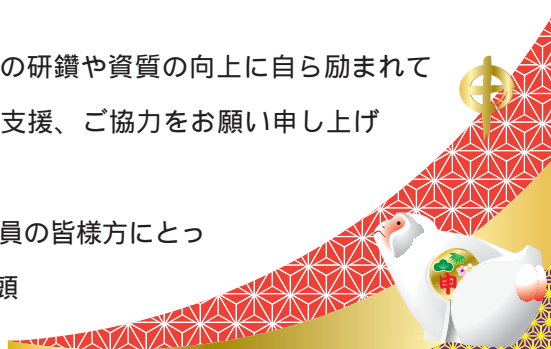
南海地震対策では、平成25年5月に公表した「南海トラフ巨大地震による被害想定」をもとにソフトとハードを柔軟に組み合わせた対策を進めています。特に津波対策を中心とした命を守る対策についても、今後、火災対策など対処すべき領域をさらに拡げ強化するとともに、応急期、復旧・復興期の対策についても、取り組みを強化しています。

また、県経済の活性化に向けては「産業振興計画」が第二期から第三期に移行しようとしており、10年後には「地産地商が進み、地域地域で若者が誇りと志を持って働ける高知県」を目標に官民が一体となって様々な施策を実施しています。

土木部ではこれらの施策をインフラの整備を通じて積極的に支援しています。また、インフラ整備の直接の担い手である建設業の活性化を図るため、昨年3月に「高知県建設業活性化プランVer.2」を策定し、公共工事の品質と担い手の確保、技術開発・施工力向上の支援及び人材確保の促進、そして全ての前提となるコンプライアンスの確立を3つの柱として、建設業の新たな展開を目指した取り組みを進めています。今後とも、県民の皆様の安全・安心の確保と、将来に希望を持って暮らせる豊かな県土づくりを目指して、良質な社会インフラの整備とその有効活用に取り組んでいます。

こうした取り組みを着実に進めるため、日ごろから技術力の研鑽や資質の向上に自ら励まれている高知県土木施工管理技士会の皆様には、今まで以上のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、高知県土木施工管理技士会のますますのご発展と会員の皆様方にとって希望ある良き年でありますよう、祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。



★ 技術コーナー ★

和食ダム建設事業の現場報告

高知県和食ダム建設事務所
チーフ 下本 聖 憲

1. はじめに

和食ダムは、洪水調節、流水の正常な機能の維持、新規水道用水の供給を目的として二級河川和食川に建設される多目的ダムで、堤高51m、堤頂長121.5m、堤体積6.8万 m^3 の重力式コンクリートダムである。

平成25年10月に着手した和食ダム本体建設工事は、これまでに仮設備工事、基礎掘削工事を終え、平成27年7月末から本体コンクリート打設を開始した。平成27年11月末時点で約9.8千 m^3 （進捗率15%）を打設し、平成30年度の事業完了を目指して鋭意施工中である。



写真1 ダムサイト上空 (H27.10月)

【和食ダム本体建設工事の概要】

- 工事場所：安芸郡芸西村西谷地先 ○工 期：H25.10.17～H29.3.31
- 受注者：大成・ジョウトク・杉本土建・山本特定建設工事共同企業体

2. ダム本体工事の状況

(1) 本体基礎掘削

ダムサイト周辺の地形は、狭い川底と急峻な山腹斜面を持つ、急峻なV字谷形状を形成している。特に左岸天端頂部の掘削は掘削勾配が5分と急勾配で且つ、掘削幅も薄く、斜面での掘削機械の登坂も困難な状況であった。そのため施工においては、ロッククライミングマシンによる掘削工法（国土交通省新技術登録 NO. KT-010076）を採用し、所定の品質を確保するとともに、何よりも安全に施工を進めることができた。

現在は粗掘削で残したカバーロック（厚さ50cm程度）を所定の高さまでコンクリートが打ち上がった後に、基礎地盤検査の受検範囲の仕上げ掘削を実施している。掘削ズリの搬出作業は、堤体内にダンプトラックが搬入できないため、タワークレーンを使用しているが、ダムサイトが狭く仮置きヤードが確保できないことから、打設工程と調整を行いながらズリ搬出作業を進めている。



写真2 左岸掘削状況 (H26.4月)



写真3 ダム基礎地盤検査の実施状況

(2) 施工設備

和食ダムの施工設備はダムサイト周辺が急峻で、上流には砂防ダムがあることから、ダムサイト下流に配置した。骨材貯蔵、コンクリート製造及び濁水処理設備は仮設備ヤードを造成して配置した。

暑中コンクリート対策として、技術提案に基づき以下の対策を実施した。(施工設備に係る主要なもの)

骨材貯蔵設備では、日射しの影響を低減するため、直射日光のあたる部分に全面遮光ネットを設置

プレクーリング設備 (クーリングタワー、冷凍機及び冷水タンク) の設置

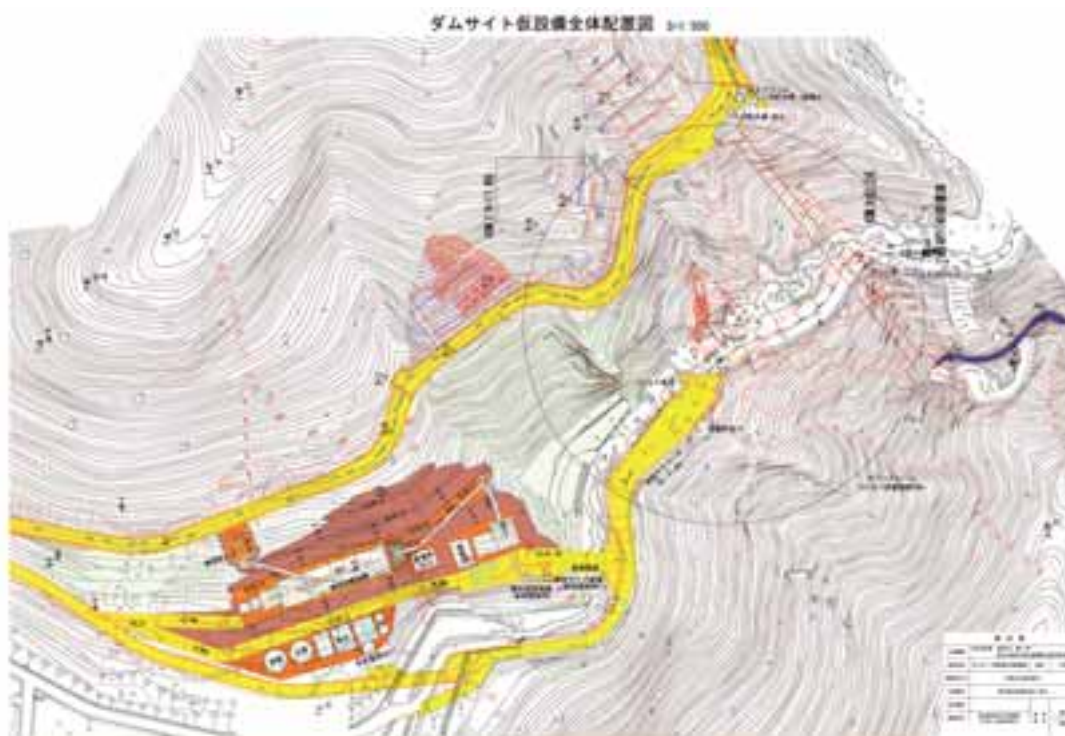


図1 施工設備全体配置図



写真4 施工設備配置状況

設備	設備諸元
コンクリート製造設備	二軸強制練2.5m ³ ×1
セメント貯蔵設備	セメントサイロ300t×1基
骨材貯蔵設備	骨材調整ビン (G1~G3) φ9.5×12.1m×3
	〃 (砕砂、海砂) φ9.0×12.1m×2
骨材輸送設備	ベルトコンベア 5基 W750
コンクリート運搬設備	ダンプトラック1台
	タワークレーン13.5t×75m バケット4.5m ³
濁水処理設備	150t/h

表1 主要仮設備一覧

(3) コンクリート打設

本体コンクリート打設は、拡張レヤー工法 (ELCM) を採用している。ELCMの特徴は打設面に段差を設けない面状施工を可能とし、施工の安全性が向上するなどのメリットがある。打設工程は平成27年 7月より開始し、打設完了は平成29年 1月頃を予定している。

ダムコンクリートに使用するセメントはコンクリートの発熱を低減させるため中庸熱フライアッシュセメントを使用している。骨材は購入骨材とし、粗骨材の最大寸法は80mmで3種類に分類した。細骨材は砕砂と海砂の2種類を混合している。

コンクリートの配合は外部・岩着部、内部、構造物用 (2種類) に区分し、コンクリート製造は2.5 m³の二軸強制型ミキサを有した製造能力105.9m³/hのバッチャープラントで行っている。打設は右岸減勢工部に配置した13.5 t 吊タワークレーンと4.5m³バケットを使用している。

夏季のコンクリート打設においては、温度ひび割れの原因となる水和時の発生熱に対し、コンクリートの温度規制として、製造時のプレクーリングと運搬時の温度上昇防止対策を実施した。この対策によりコンクリートの練上がり温度は16 ~22 、打ち込み時で19 ~22 程度を確保でき、平成27年度の夏季打設は打ち込み温度規制値23 以下で打設することができた。

以下、コンクリート打設の施工フローを示す。

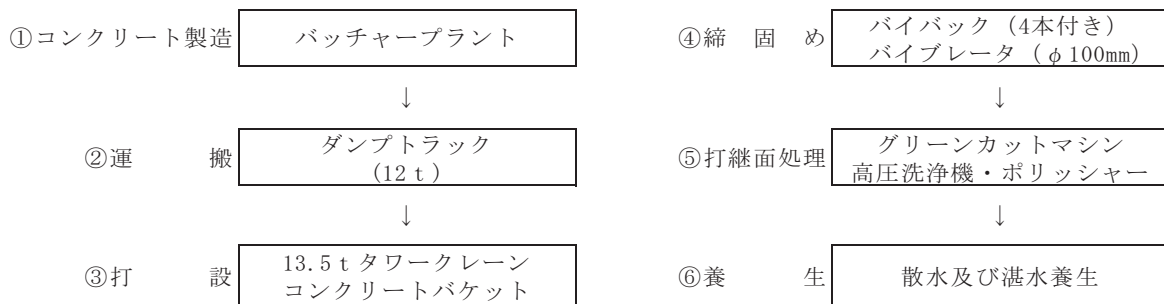


図2 コンクリート打設施工フロー



写真5 コンクリート打設状況



写真6 バイバックによる締め固め状況



写真7 グリーンカット状況



写真8 堤内仮排水路等の施工状況

(4) 基礎処理工の施工

和食ダムの基礎処理工は、コンソリデーショングラウチングとカーテングラウチングを計画している。コンソリデーショングラウチングは、遮水性改良目的と弱部補強目的に分類され、遮水性改良目的の改良目標値は5 Lu程度としている。弱部補強を目的とするコンソリデーショングラウチングは基礎掘削の結果、必要に応じ実施する。平成27年11月末現在、4 BLのコンソリデーショングラウチングを施工中である。



図3 基礎処理工配置計画（標準断面）

3. 周辺環境対策

ダム本体工事に使用する工事用車両の通行ルートは、芸西村中心部の施設園芸地帯や小中学校、幼稚園の通学路を走行する。さらにダムサイト周辺は、地元集落内の生活道路である村道を走行することから、沿線の環境保全や交通安全対策が重要な課題と捉え、以下のような取り組みを実施している。

環境保全

- ・村道散水清掃、パトロール
- ・骨材投入口への外壁・ゴム材設置（騒音対策）等

交通安全対策

- ・交通安全教室開催
- ・通学路点検
- ・危険箇所ハザードマップ作成 等

4. おわりに

平成27年7月から開始した本体コンクリート打設はこれから最盛期を迎えることとなります。これまでどおり周辺環境対策を行いながら、1日でも早くダム事業の効果が得られるよう、ダムの早期完成に向けて職員一同取り組んでまいります。

＊ 会員の広場コーナー ＊



道交国 (改築) 第109-213-3号 国道439号社会資本整備総合交付金工事について

(有)高橋建設 高橋 伸幸

1. はじめに

本工事は、国道439号線郷工区の道路改良工事の最終区間でした。カーブが連続し、幅員も狭いため、地域の皆様からも早期の改良が望まれていました。

工事区間は現道にも隣接し、一般車用も多く四国カルストにつながる県道にも隣接した場所です。先の台風により、主たる観光ルートが被災し現場に隣接した県道が唯一の観光ルートとなり、観光客の車両も増加する事が見込まれました。

2. 工事概要・工事内容

工事概要

工事番号	道交国 (改築) 第109-213-3号
工事名	国道439号社会資本整備総合交付金工事
工期	平成26年8月9日～平成27年3月25日

工事内容

施工延長	L = 92.5m
切土	V = 9350m ³
山留擁壁工	A = 698m ²
防護柵工	L = 71.0m



3. 施工段階での課題

3. 1 掘削、残土運搬、石積、床版縦壁、現場打ち床版の順押し施工による工期内完成。
3. 2 切土施工により、近隣住民の生活道が無くなるため、生活道の確保及び切土面からの転落防止、掘削による騒音・振動・粉塵の抑制。
3. 3 床版縦壁 (H = 4.0m. B = 0.5m) のコンクリートが分離しない打設方法の検討及び工程短縮。



4. 対策

3. 1 工期内完成について



工事日数200日で、実作業日数172日。8月9日より準備工に14日、掘削・残土処理に33日、石積擁壁に50日、床版縦壁に44日、現場打ち床版に39日、防護柵に7日で計187日になります。

実作業日数172日に対し187日かかると工期内完成はできません。

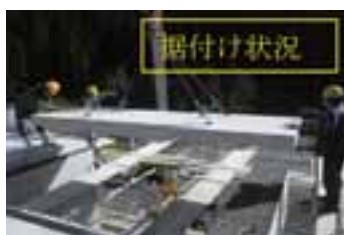
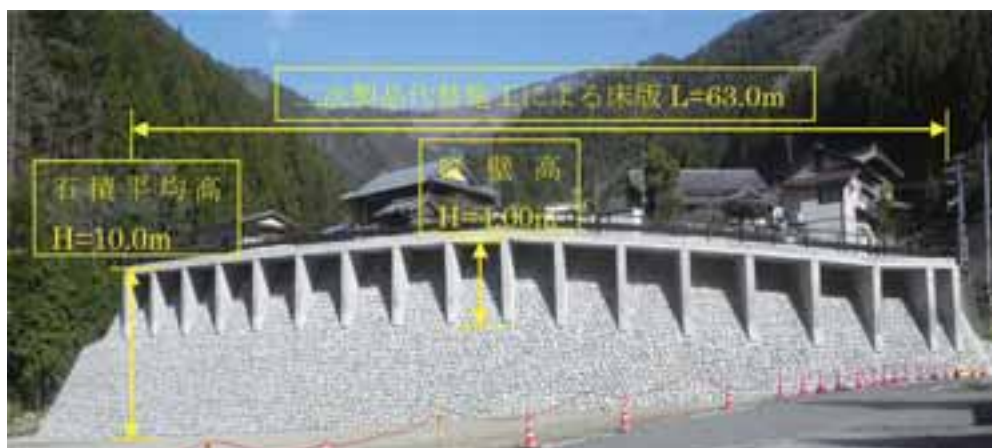
どこで工期を短縮するか、何が短縮できるかを考えました。

掘削に対しては、ダンプの台数を増やしても事故等のデメリットが増し、通行車両に迷惑がかかる。石積擁壁は2班での施工を考えて、最適人数の配置を考えこの日数が必要。床版縦壁に対しても同様でした。又、現場打ち床版の支保工を石積前面へH型鋼で施工した場合、設置、撤去時に振り戻しによる転落事故等があげられ危険であり、サポート支保工は足元が安定せず設置不可能と考えた。

そこで考えたのが現場打ち床版を二次製品にするとどうか？

H型鋼での支保工での設置の難易度、設置・解体作業中の転落。養生日数の削減が可能になる。

以上の考慮の結果、適応する二次製品は無いメーカーに確認したところ二次製品の床版があり据付け手間4日で床版が施工でき約35日の工期短縮ができた。施工日数も152日で工期内完成が可能になりました。



又、安全対策として親綱を張り、安全帯を使用し開口部からの転落防止。安全幕による注意喚起を行いました。



3. 2 近隣住民の生活道の確保及び切土面からの転落防止、

掘削による騒音・振動・粉塵の抑制について

重機の移動等の振動が近隣家屋に影響がないか、振動計を設置し測定を行った。測定の結果、異状はなく地元住民から苦情もありませんでした。

騒音、振動に対して、掘削途中で転石が多数あり、家屋に近い所は静的破碎剤を使用し、他の場合は家屋より離れた場所に移動し、大型ブレーカによる破碎を行い、出来るだけ近隣住民の騒音による負担の軽減を行いました。

粉塵に対しては、現場付近、残土処理場等の搬出経路に散水・洗浄を行いました。



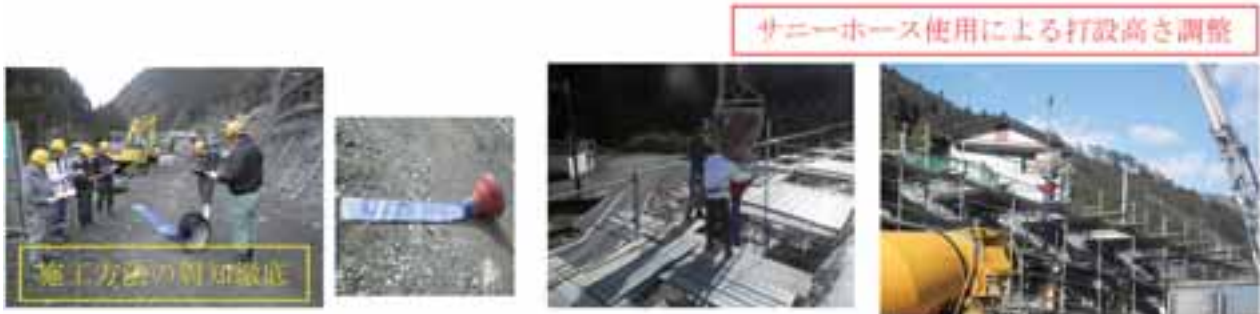
近隣住民の生活道の確保については、生活道の確保の為、近隣の人に相談し庭を通路として確保し、転落防止柵に長期の設置となる為、圧迫感の少ない大和張りの柵を設置しました。



3. 3 床版縦壁 (H = 4.00m・B = 0.50m) のコンクリートが分離しない打設方法の検討及び工程の短縮について

打設高さを1.0m以下に抑えるため、バケツにサニーホースを取付けて打設高さを確保しました。また、打設マニュアルを作成し作業員に周知徹底を図り施工しました。

結果、コンクリートの材料分離無く仕上がりました。



又、外気温度、コンクリート内部温度、養生内温度の測定を行い、冬季の養生温度の確保、及び養生期間の測定によりクラックの発生を抑制しました。



床版縦壁のコンクリートを、設計では高炉セメント (24-8-20BB) ですが、普通セメントに変更し、床版設置強度早期に出し、工程の短縮を図りました。

5. おわりに

工事全般を通して、発注者・関係機関・地域の皆様の全面的なご協力を得た事で、工程・施工・品質の管理等での、調整や品質確保への取組が工事全体にうまく反映させることもできました。これらのことから、工期内で満足のできる工事完成が達成出来ました。

また、地域の皆様からも大変喜んで頂き、発注機関からも高い評価を得る事も出来ました。今回は技術者の一人として貴重な経験を得ることもでき、この経験を今後の工事に有効に反映させることで、地域社会に少しでも貢献できるよう頑張っていきたいと思っております。



★ 委員会コーナー ★

このコーナーは、技士会の4委員会（総務、技術、研修、広報の各委員会）の委員の皆様方に、持ち回りで各委員会活動に関するものに限らず、自由なテーマでお願いしています。今回は、広報委員会の前中様です。次回は、総務委員会の皆様です。

小田深山溪谷に魅せられて

広報委員会 前中良啓

仁淀川は「仁淀川ブルー」で愛称されるように、豊かで綺麗な流水に恵まれた我が国屈指の清流です。

仁淀川の源流は、西日本最高峰の石鎚山を源とする面河川と久万高原の皿が峰を源とする久万川、小田深山の妙見森を源とする黒川に分かれ、林相や溪相の異なる源流によって個性豊かな流域環境が保たれています。中でも小田深山溪谷は、黒川の源流域に位置し、周囲を妙見森や笠取山、大川峰、雨乞山など1300m～1500m級の山並みに囲まれた閉鎖流域で、源流域には四国でも有数のブナの原生林が残され、溪谷沿いには、シオジやサワグルミ、ケヤキなどの老木が鎮座する溪畔林が保全されており、貴重な動植物も多く四季を通じて様々な草花や動物にも巡り会うことができます。また、溪谷はチャート为主体とする岩盤や転石が散在し小滝や瀬、淵など変化に富んだ溪相を呈しており、水面に映える川底の色とりどりの小石と四季を織りなす新緑や紅葉のコントラストは格別で訪れる人を魅了してくれます。



小田深山溪谷の長老（シオジ）

私は、溪流釣りで四万十川や吉野川など四国の殆どの源流に入谷しますが、身近にこれほどの自然豊かな溪谷が残されていたとは驚きです。別府峡や高の瀬峡、安居溪谷など荒々しく人を寄せ付けない溪谷とは趣を異にし、四季を通じて子供からお年寄りまで優しく受け入れてくれる穏やかな溪相と自然の豊かさが織りなす四季の移ろいや老木に覆われた幻想的な溪谷は他に類例を見ないものです。

前置きはさておき、写真をベースに小田深山溪谷を紹介していきます。

【流域に点在するブナの原生林】



新緑のブナ林



霧中のブナ林

流域には、丸石山のブナの保護林をはじめ笠取山や妙見森などのブナの原生林が点在し、霧に霞む巨木の姿や苔むした倒木の姿に自然の厳しさと生命力の強さが感じられます。

中でも、春の新緑と秋の紅葉は素晴らしく訪れる人を温かく抱擁してくれます。

【山麓に広がる笹原とツルギミツバツツジの大群落】

笠取山や大川峰の尾根にはササ原が広がり、初夏にはツルギミツバツツジが一斉に咲き誇り絶景の一言尽きます。



笠取山から見たツルギミツバツツジの大群落

晴れた日には、山頂からは石鎚山や四国カルストが間近に見え、条件が良ければ九州の山並みも眺望でき、すばらしい開放感が味わえます。

【小田深山溪谷の四季】

溪谷には巨石や転石が折り重なる荒々しさと、五色の石を敷き詰めた清らかな流れの優しさが対照的で自然の造形のおもしろさが堪能できます。また、溪谷沿いにはカエデやケヤキなどの落葉広葉樹が密生しており新緑や紅葉の彩りは格別で訪れる人を楽しませてくれます。

水温む夏には、水遊びやキャンプを楽しむ子供達の声が溪谷にこだまし、冬は一変して雪に閉ざされた静寂な世界に戻ります。



新緑とキシツツ水面に映える春景色



紅葉の鮮やかさが映える秋景色



子供の声がこだまする夏景色



雪に閉ざされた冬景色

【幻想的な雰囲気醸す渓谷】

渓谷内にある五色河原には露頭した岩盤の割れ目にシオジやサワグルミなどの老木が根を張り、昼間でも薄暗く幻想的な雰囲気を醸しています。文頭に掲載したシオジの老木は、流れの激しい渓谷中で数百年の間、激しい洪水や風雪に耐え忍んできた渓谷のシンボルです。

五色河原の上流には龍神伝説のある安芸貞淵があり、その深々とした藍色の滝壺は神秘的で絶壁に根を張るキシツツジの花やカエデの紅葉が彩りを添え、渓谷随一の撮影ポイントです。



幻想的な五色河原



赤い岩の渓谷



神秘的な秋貞淵

【四国最大級のスキー場】

小田深山溪谷の獅子越え峠には四国でも有数の雪質を誇るスキー場があり、毎年多くのスキー客で賑わいます。



【せんの森プロジェクトに参加して】

このような素晴らしい溪谷も、他の溪谷同様山林の荒廃や開発行為により森林環境のバランスが損なわれブナの立ち枯れや溪畔樹木の倒木、流出土砂の溪谷への堆積や濁水など自然環境の悪化が急激に進行しています。10年程前、私たちはこの自然豊かな小田深山溪谷を保全・活用するため

「せんの森プロジェクト」を設立し、源流域のブナの原生林や溪谷の保全に努める一方、山並みフォーラムやブナ林の散策、溪谷ウォッチングなど様々な啓発活動も行っています。

「せんの森プロジェクト」では、小田深山溪谷の保全・活用をサポートして頂ける会員を募集しています。小田深山溪谷は冒頭でも説明したとおり、仁淀川の源流であり溪谷の保全は仁淀川の保全そのものです。是非、多くの高知県民が小田深山を訪れ、溪谷のすばらしさを堪能して頂くとともに同会に参加して下さることを期待しています。



問い合わせ先

せんの森プロジェクト事務局：内子町小田支所高本

筆者：プロジェクト委員西日本科学技術研究所前中

せんの森プロジェクトHP www.town.uchiko.ehime.jp/site/sennomori00

写真で見る技士会活動状況

高知県優良工事表彰式 (高知県庁正庁ホール)

◇平成27年9月25日

高知県優良工事表彰式が高知会館にて行われました。

高知県土木施工管理技士会 田邊 聖会長の祝辞

知事賞表彰状を授与される会員の皆様



委託業務 (平成27年9月30日~10月1日)

高知県建設管理課：建設業活性化プラン施工力向上研修事業

講師：ハタコンサルタント 降旗達生講師

幡多事務所管内 (大方ふるさと総合センター) 9月30日AM



須崎・中央西土木管内 (須崎市民会館) 9月30日PM



高知土木・中央東土木管内 (高知城ホール) 10月1日AM



安芸土木管内 (安芸市消防防災センター) 10月1日PM



JCM維持管理セミナー ふくし交流フラザ 研修室A

◇平成27年10月2日

昨年度から、始まった維持管理技術に関する全国技士会連合会共催講習会（JCMセミナー）2年目の今年は、河川維持に関する講習で、93人の受講。



平成27年度現場見学会

(工事現場：安芸郡芸西村和食 和食ダム本体建設工事)

◇平成27年11月20日

今年もお天気に恵まれた現場見学会となりました。

昨年はコンクリートプラント・骨材プラント・打設用クレーン設備の等仮設設備。

今年は本体コンクリートの打設が本格化。見学時は約15%の進捗状況でした。

昨年と同じく芸西村の家に集合・昼食後、総勢、42名が2回に分乗してピストン輸送で現地へ向かいました。



まずはダムJV事務所で、
見学のご挨拶。 ↓



和食ダム建設事務所 藤原所長、下本チーフから事業説明

川田JV所長に工事説明をして頂きました。

打設ははるか谷の下です。打設用タワークレーンと本堤底を覗き込む参加者。



コンクリートプラント付近から
13.5 t 吊り打設用タワークレーンを望む



Φ100のバイブレータ
力自慢がチャレンジです！ こりゃ重い



本体打設用の大型締め機バイバック
このような大型のものはダム以外で
あまりお目にかかれませんか。



本体打設用クレーンの元で全員の記念撮影
手前に、寝かせてあるのはバイブレータです。本当に人間が扱えるのかと思わせるものでした。



委託業務 (平成27年12月24日: 会員による講習と現場見学)

建設業協会: 建設業振興基金建設業緊急雇用促進事業
講師: ミタニ建設工業 大崎真補講師

午前中は建設会館にて「建設業とは」と題して講習、受講者には「どぼじょ」(土木女子)・建設小町候補も



午後から2か所の工事現場へ研修に



日高村立図書館の建築工事現場の見学



高知学園野球グラウンド造成工事現場の見学



事務局より

平成27年度4月～12月まで(公社)高知県土木施工管理技士会の状況について

(1) 組織(会員)の現状

高知県土木施工管理技士会員の状況報告

	27.3.31	27.12.31	増減
正会員(個人)	2,463名	2,456名	-7名
賛助会員(個人)	369名	401名	32名
賛助会員(団体)企業数	306社	302社	-4社
賛助会員(団体)口数	498口	485口	-13口

(2) 技術力の維持・向上に関する事業

土木施工管理技術検定試験受験準備講習会の実施

実施日	内容	受講者数(前年)	会場
6月2日(火)～4日(木)	1級学科(前半)	49(36)	ふくし交流プラザ
6月9日(火)～11日(木)	"(後半)	48(36)	ふくし交流プラザ
9月3日(木)～4日(金)	1級実地	52(30)	高知県立地域職業訓練センター
9月15日(火)～17日(木)	2級学科・実地	52(30)	高知県立地域職業訓練センター

土木施工管理技術講習会の実施(土木施工管理)

実施日	講習名	受講者数(前年)	会場
6月20日(土)	土木施工管理技術講習会	84名(59名)	須崎商工会議所
6月25日(木)	土木施工管理技術講習会	160名(96名)	中村市区建設協同組合会館
6月27日(土)	土木施工管理技術講習会	222名(178名)	ふくし交流プラザ
7月4日(土)	土木施工管理技術講習会	96名(58名)	安田町文化センター
7月9日(木)	土木施工管理技術講習会	215名(104名)	ふくし交流プラザ
7月11日(土)	土木施工管理技術講習会	149名(129名)	中村市区建設協同組合会館
7月17日(金)	JCMセミナー	中止(63名)	高知県建設会館
7月21日(火)	JCM特別セミナー	58名(17名)	高知県建設会館
10月2日(金)	JCM維持管理セミナー	93名(69名)	ふくし交流プラザ
10月28日(水)	四国4県統一セミナー	98名(100名)	サンピアセリーズ

監理技術者講習【法定講習】の実施

実施日	受講者数(前年)	会場
4月4日(土)	120名(115名)	高知県建設会館
6月13日(土)	83名(112名)	高知県建設会館
8月6日(木)	58名(69名)	高知県建設会館
11月7日(土)	49名(73名)	高知県建設会館
平成28年2月6日(土)	(33名)	高知県建設会館

その他団体との共催事業の実施

実施日	共催団体	講習名	会場
4月24日(金)	高知県地質調査業協会	技術講習会	グリーンホール
9月25日(金)	高知県	技術研修会	ふくし交流プラザ
9月25日(金)	高知県コンクリート診断士会	第6回コンクリート技術研修会	高知工科大学

委託業務 高知県 建設業活性化プラン

実施日	講習名	受講者数(前年)	会場
9月30日(水)	施工力向上研修	120名(-)	大方ふるさと総合センター
9月30日(水)	施工力向上研修	73名(-)	須崎市立市民文化会館
10月1日(木)	施工力向上研修	179名(-)	高知城ホール
10月1日(木)	施工力向上研修	72名(-)	安芸市防災センター

(一社)建設業振興基金 建設労働者緊急育成支援事業

実施日	講習名	受講者数(前年)	会場
12月24日(木)	土木系技能者講習	16名(-)	高知県建設会館(講義)/日高村立図書館 高知学園グラウンド(現場研修)

県内現場見学研修

実施日	受講者数(前年)	研修場所
11月20日(金)	42名(45名)	和食ダム本体工事

技士会伝言板

会員の皆さんへのご案内、ご依頼ごとです。よろしくお願いいたします。

土木施工管理技士会の 監理技術者講習のご案内

★ 技士会連合会の監理技術者講習のメリット ★

- ①申込書に継続学習制度 (CPDS) 登録番号を記入するだけで、受講後に技士会の継続学習制度の学習履歴として登録加点されます。
- ②申込時にCPDS新規加入の方は、受講料にCPDS費用を上乗せして、継続学習制度 (CPDS) への新規加入欄の「する」に○をつけて下さい。(新規加入と履歴登録が同時にできます!!)
- ③インターネット (<http://www.ejcm.or.jp>) 申込みなら写真・書類の郵送は必要ありません。

1. 受講対象者

公共工事の監理技術者となる方 (現場配置前に講習を受講しておくこと。)
建設業全28業種の監理技術者が対象となります。

2. 受講料

9,800円 (テキスト代・講習修了証交付手数料、消費税含む)
インターネット申込なら受講料9,500円

3. 実施日時

平成28年4月2日 (土) 平成28年6月4日 (土) 平成28年8月4日 (木)
平成28年10月5日 (水) 平成29年2月1日 (水)
講習時間：午前8時50分～午後4時30分

4. 講習内容

建設工事に関する法律制度 (最近の社会・経済情勢と技術者制度)
建設工事の施工管理、その他の技術上の管理
建設工事に関する最近の技術動向等
修了試験 (25分) 修了試験後、講習修了証交付

申込方法

- ・インターネットでの申込み

(一社)全国土木施工管理技士会連合会 <http://www.ejcm.or.jp/>

(公社)高知県土木施工管理技士会 <http://www.kochigisi.or.jp/>

- ・受講申込書での申込み

受講申込書に必要事項記入の上、カラー顔写真・受講料を支払った郵便局の郵便振替払込請求書兼受領証を貼付けて持参または郵送 (定形郵便82円)。

(受講申込書提出先)

(公社)高知県土木施工管理技士会

〒780-0870 高知市本町4丁目2-15高知県建設会館5階 (TEL 088-825-1844)

2級技術検定の学科試験合格者 免除期間を延長

国土交通省は16日に公布した建設業法に基づく告示で、2級技術検定の学科試験合格者に対する免除期間を延長した。2級技術検定の学科試験に合格すると、必要な実務経験を満たせば、その後11年間は再度学科試験に合格しなくても、実地試験を受検できる。免除期間は学歴を問わず11年に統一する。併せて、技術検定の受検資格における専門学校卒業者の位置付けも明確にする。2016年度試験から適用する。

2級技術検定の受検資格については、学科試験の受検資格に実務経験を求めず、最短で高校2年時に受検を可能にする政令を16日に公布した。若年者の早期受検を促す措置で、16年度試験から工業高校などの指定学科在校生で1年、指定学科以外の普通高校卒で7年前倒しで学科試験を受けられるようになる。

これに伴い、2級技術検定の学科試験合格者に与えられる免除期間も延長。学科試験合格者に対しては、これまでも大卒で4年間、短大卒で5年間、高卒で6年間の免除期間がある。合格者は、実地試験の受検資格として求められる実務経験を満たせば、学科試験に再度合格しなくても実地試験を2年連続で受検することを認めていた。今回の告示では、学歴を問わず、この免除期間を一律で11年に延長する。

一方、技術検定の受検資格における専門学校卒業者は、個別に認定を受けた専門学校に限り、大学卒業者や短大卒業者と同等の実務経験で学科試験・実地試験を受検できた。告示で専門学校の位置付けを明確にしたことで、認定を受けていない専門学校でも、建築・土木系の学科がある一部の専門学校の卒業生には、大学・短大卒業者と同じ扱いで技術検定を受検できるようにする。併せて、建設業許可の主任技術者要件でも、専門学校卒業生の扱いを明確にする。

（建通新聞 12月22日（火））

28年度 監理技術者講習に関する国交省の動向

現在、監理技術者は資格者証と講習修了証の両方を携帯することとなっているが、講習修了情報を資格者証へ記載し、1枚にすることとなる予定です。

施行日を平成28年6月1日とすることで記載方法（資格者証の裏面にシールを貼る必要が出てくる予定）等について、準備を進めているところである。

（平成27年12月16日全国事務局長会資料より）

平成28年度 1、2級土木施工管理技術検定試験と講習会のご案内

～ 土木施工管理技士をめざして～

(一財) 全国建設研修センターが建設業法に基づいて実施します「検定試験」、また、(公社) 高知県土木施工管理技士会が行います「受験準備講習会」を次のとおり予定しています。

なお、申込み用紙(願書)の販売方法、講習会への受講申し込み方法については、決定次第会員各位の所属会社あてにご案内文書をFax送信いたします。(ホームページでも公開いたします<http://www.kochigisi.or.jp>)

－ 実 施 予 定 －

◎ 申込用紙の販売 「学科・実地試験」 1部600円

1 級 土 木	平成28年 3月14日 (月) ~ 4月15日 (金)
2 級 土 木	平成28年 3月14日 (月) ~ 4月28日 (木)

◎ 土木施工管理技術検定試験

1 級 (学科)	申込受付	平成28年 4月 1日 (金) ~ 4月15日 (金)
	試 験 日	平成28年 7月 3日 (日)
	合格発表	平成28年 8月17日 (水)

1 級 (実地)	申込受付	前年度 (平成27年度) 学科試験合格者・学科試験免除者 平成28年 4月 1日 (金) ~ 4月15日 (金) 平成28年度学科試験合格者 (受験手続) 平成28年 8月17日 (水) ~ 8月31日 (水) の予定
	試 験 日	平成28年10月 2日 (日)
	合格発表	平成29年 1月17日 (火)

2 級 (学科・実地同一日)	申込受付	平成28年 4月14日 (木) ~ 4月28日 (木)
	試 験 日	平成28年10月23日 (日)
	合格発表	平成29年 2月 2日 (木)



◎ 受験準備講習会 (「検定試験」受験に備える講習会) 会場：高知市

1 級 (学科)	日 程	平成28年 5月31日 (火) ~ 6月 2日 (木) } (6日間) 平成28年 6月 8日 (水) ~ 10日 (金) }
	受 講 料	会員45,000円・一般50,000円
	再受講者割引 (H25~27年度当講習会参加者)	会員35,000円・一般40,000円

1 級 (実地)	日 程	平成28年 9月 7日 (水) ~ 8日 (木) (2日間)
	受 講 料	会員18,000円・一般24,000円
	再受講者割引 (H27年度当講習会参加者)	会員15,000円・一般20,000円

2 級 (学科・実地同一日)	日 程	平成28年 9月14日 (水) ~ 16日 (金) (3日間)
	受 講 料	会員30,000円・一般35,000円
	再受講者割引 (H25~27年度当講習会参加者)	会員23,000円・一般28,000円

